



人工呼吸に伴う脳萎縮の検討

2015年1月1日から2023年3月31日までに、日本医科大学付属病院 救命救急科において人工呼吸管理を行い、入院中に2回以上頭部CTを撮影した患者さん

研究協力をお願い

当科では「人工呼吸に伴う脳萎縮の検討」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2015年1月1日から2023年3月31日までに、日本医科大学付属病院 救命救急科において人工呼吸管理を行った患者さんの脳の大きさの変化を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：人工呼吸に伴う脳萎縮の検討

研究期間：研究実施許可日～2026年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 救命救急科 准教授 中江 竜太

(2) 研究の意義、目的について

人工呼吸は、脳の血液の流れにも影響があることがわかっていますが、脳の大きさの変化に関しては分かっていません。本研究は、人工呼吸に伴う脳の大きさの変化を検討するものです。人工呼吸管理を行った患者さんの中には急速に脳萎縮が進行する方がおり、集中治療室における筋力低下の原因の1つであると仮説を立てています。本研究により、人工呼吸に伴う脳萎縮と筋力低下の因果関係を調べ、脳萎縮の原因を解明しようと考えています。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2015年1月1日から2023年3月31日までに、日本医科大学付属病院 救命救急科において人工呼吸管理を行い、入院中に2回以上頭部CTを撮影した患者さんを対象にして、頭部CTから脳の大きさの変化を検討します。入院時の血液検査で酸素の値が悪かった患者さん、脳卒中、頭部外傷、髄膜炎、一酸化炭素中毒、薬剤中毒、てんかん、低酸素脳症、脳死、血液系疾患、悪性疾患など、脳萎縮に影響を与える疾患に罹患している患者さんは対象になりません。

この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。

情報：年齢、性別、バイタルサイン（意識レベル、血圧、脈拍等）、血液検査所見（白血球、赤血球、Hb、Ht、血小板、CRP等）、画像検査所見（CT）、治療方法、転帰（退院時の四肢の筋力）

試料：なし

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 救命救急科 准教授 中江 竜太

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24346

メールアドレス：nakae@nms.ac.jp